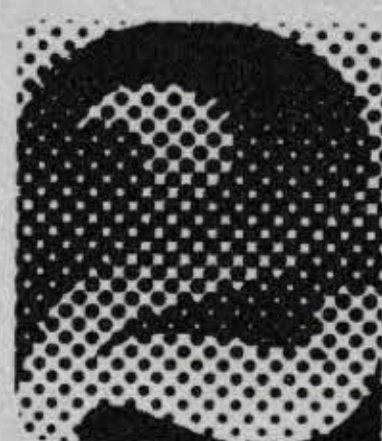


MASQUERADE

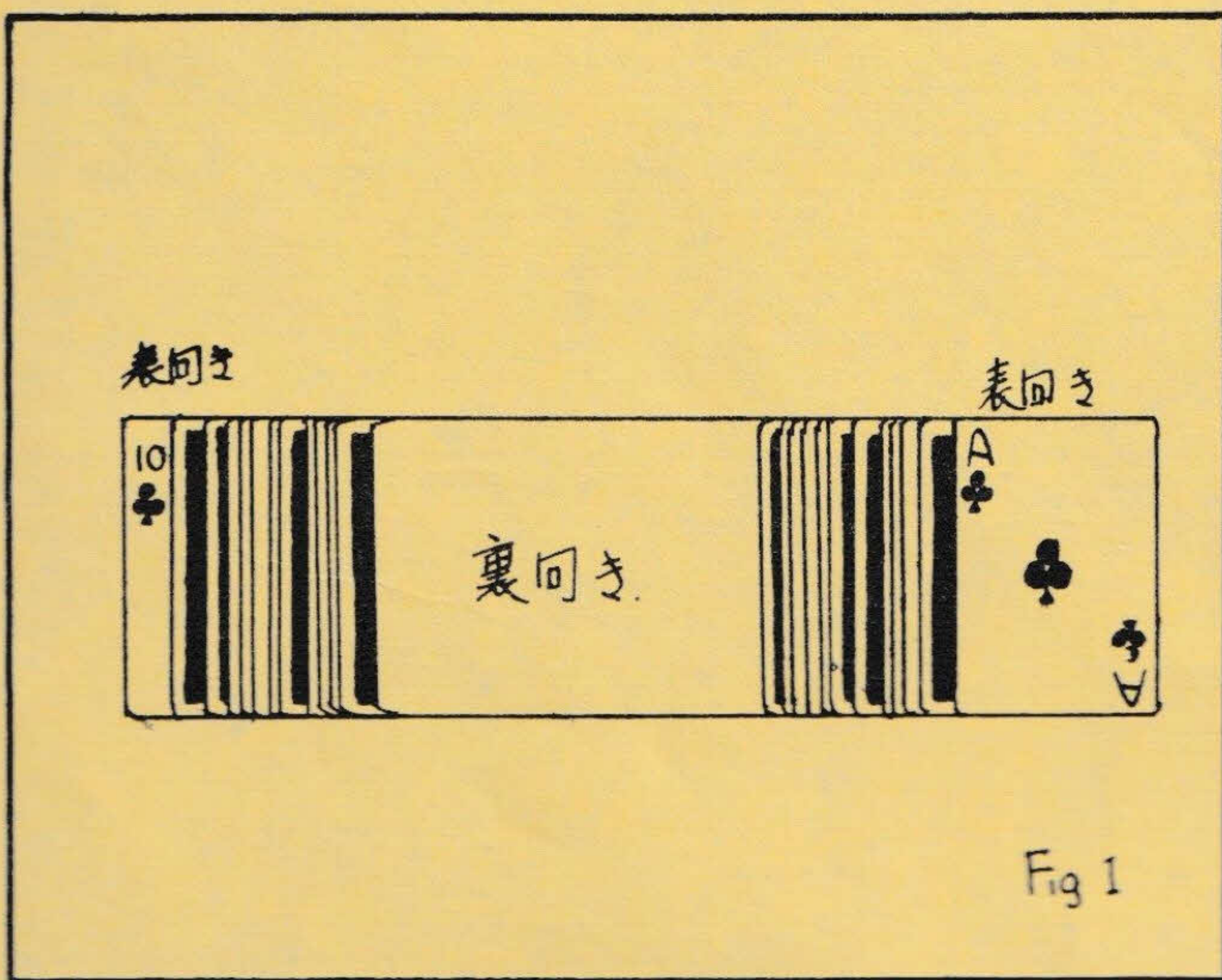
ADDITIONAL



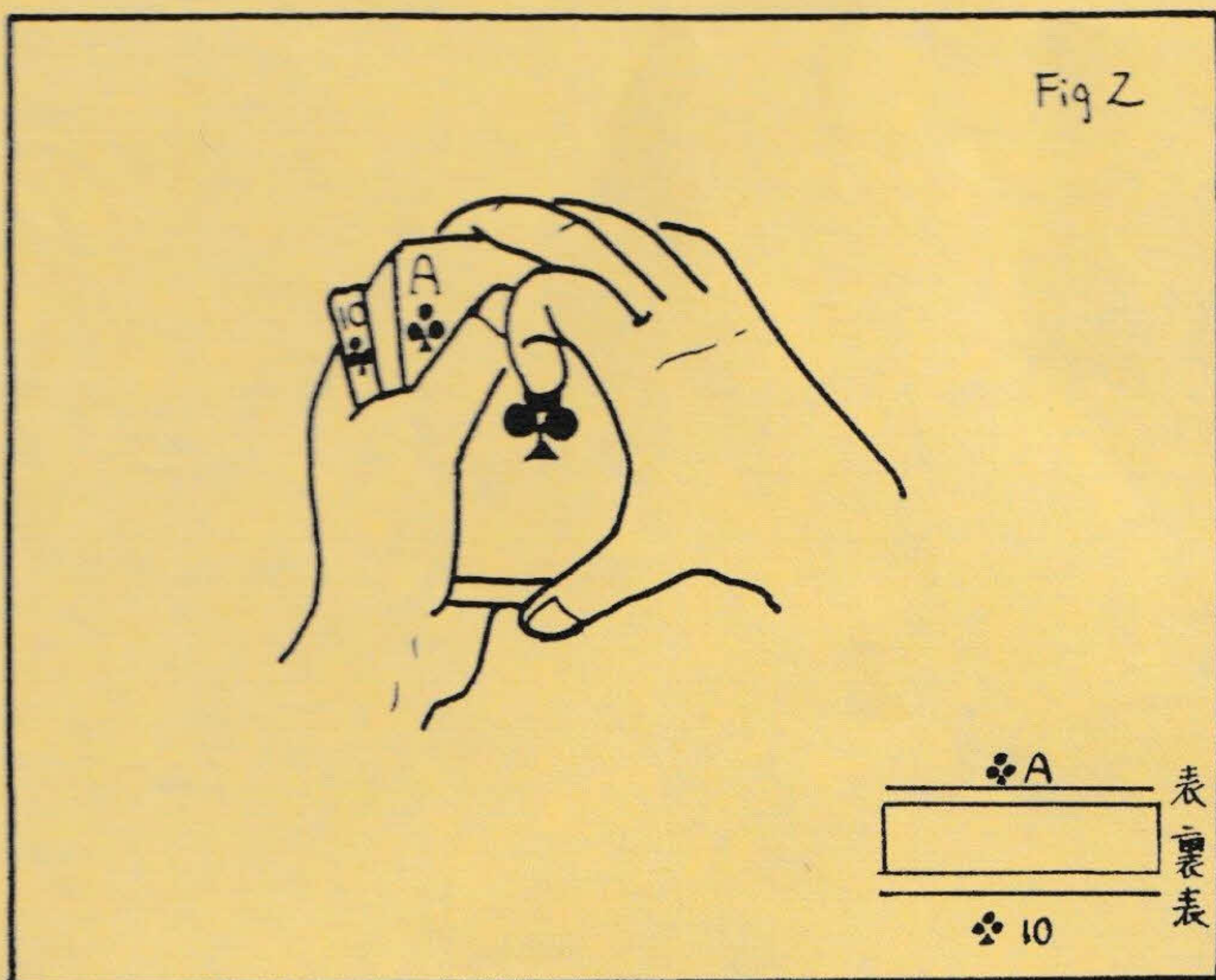
"trigger"

TRIGGER

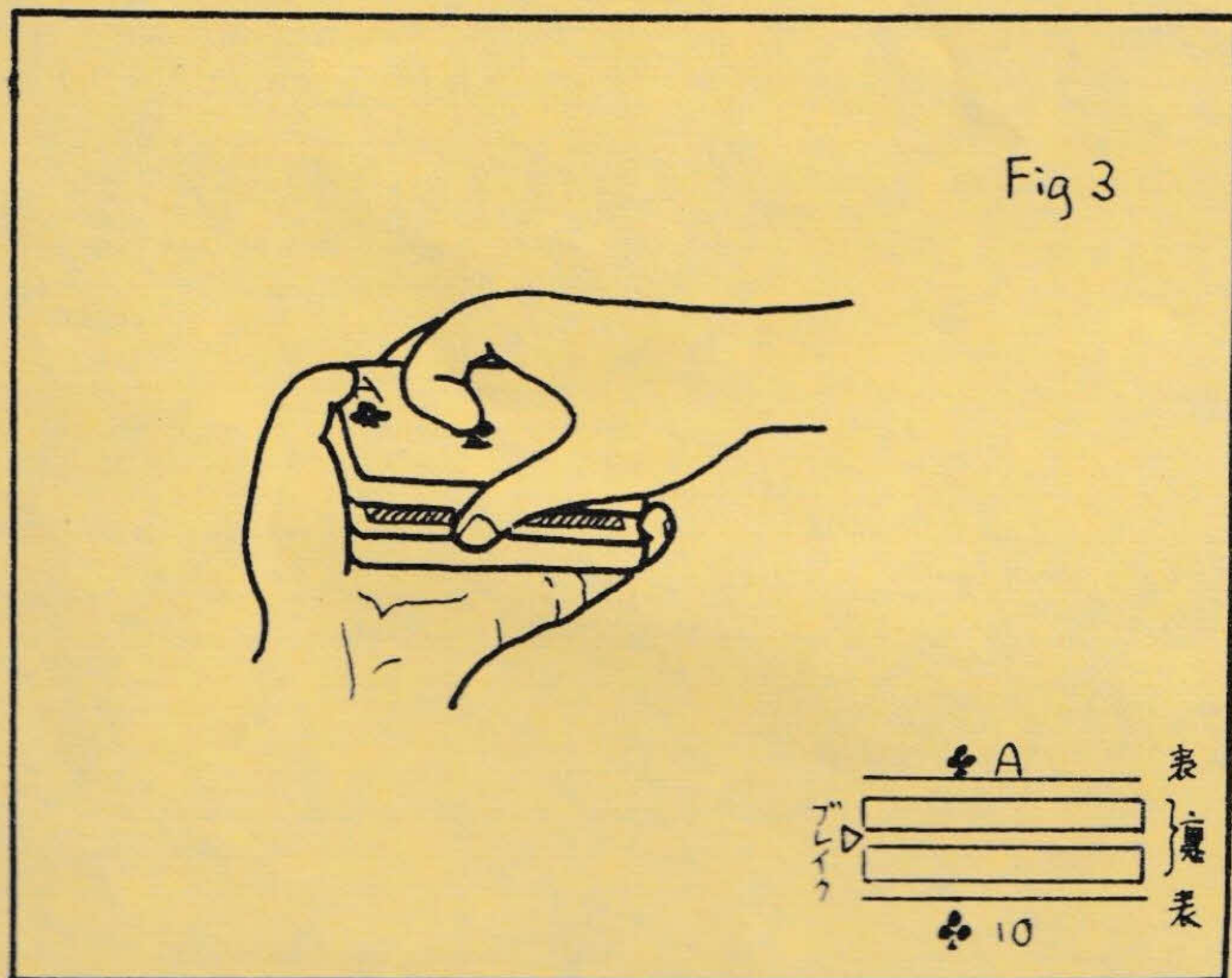
Roy Waltonの手元に送られてきたMike Rogersからの手紙に、11°スという技法を、カバーするMike Rogers自身の方法が書かれてあった。その方法を、Roy Waltonが鏡の前で練習していたところ、手指の角度をほんの少し変えるだけで、11°スをしただけなのに、デッキをひっくり返した様に見える。新しい技法を偶然にも発見した。そして、この新しい技法——TRIGGER——を正しく習得するためには、鏡を使うが、ただ単にデッキをひっくり返した様に見えるだけではない。と、Roy WaltonのTRIGGERという小冊子の序文に書かれています。この技法の原理を簡単に説明しますと、単に、デッキをひっくり返した様に見える。実は、ひっくり返しては、その動作中に、11°スを行うということです。このことを鏡の中に入れて、鏡の前で良く練習して下さい。何事も、本質をつかむことから、そこから練習です。Turnover (Hamman) Passの出来る方は、すぐに習得出来ます。この技法は、Turnover (Hamman) Passの変形です。



まず、トップとボトムカードをひっくり返しおきます。説明の都合上、トップカードをクラブのエース、ボトムカードをクラブの10とします。トップとボトムは表向きで、その間の残りのカードは全て裏向きです。これで準備です。

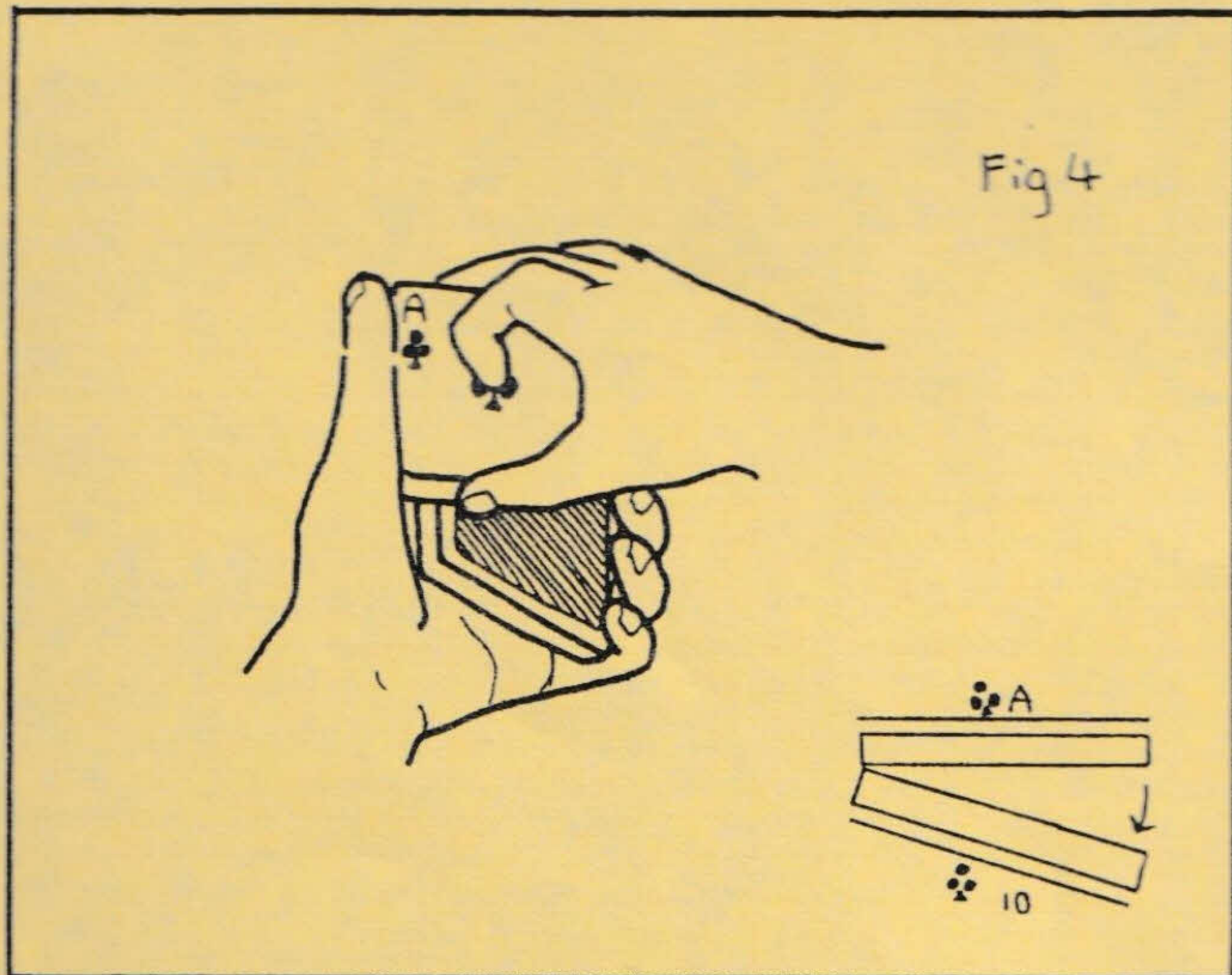


デッキを良く揃えて、左手にディーリングポジションの位置に持ちます。ただし左親指はデッキの左側に、そっておいて下さい。右手を、上から、T-4の様に、親指を内端に、他の指を外端にあてて、デッキを持ちます。図はわかる様に、ボトムカードをわざと左側に出していますが、実際は、きちんと揃えておいて下さい。左親指もわざと、どけてあります。

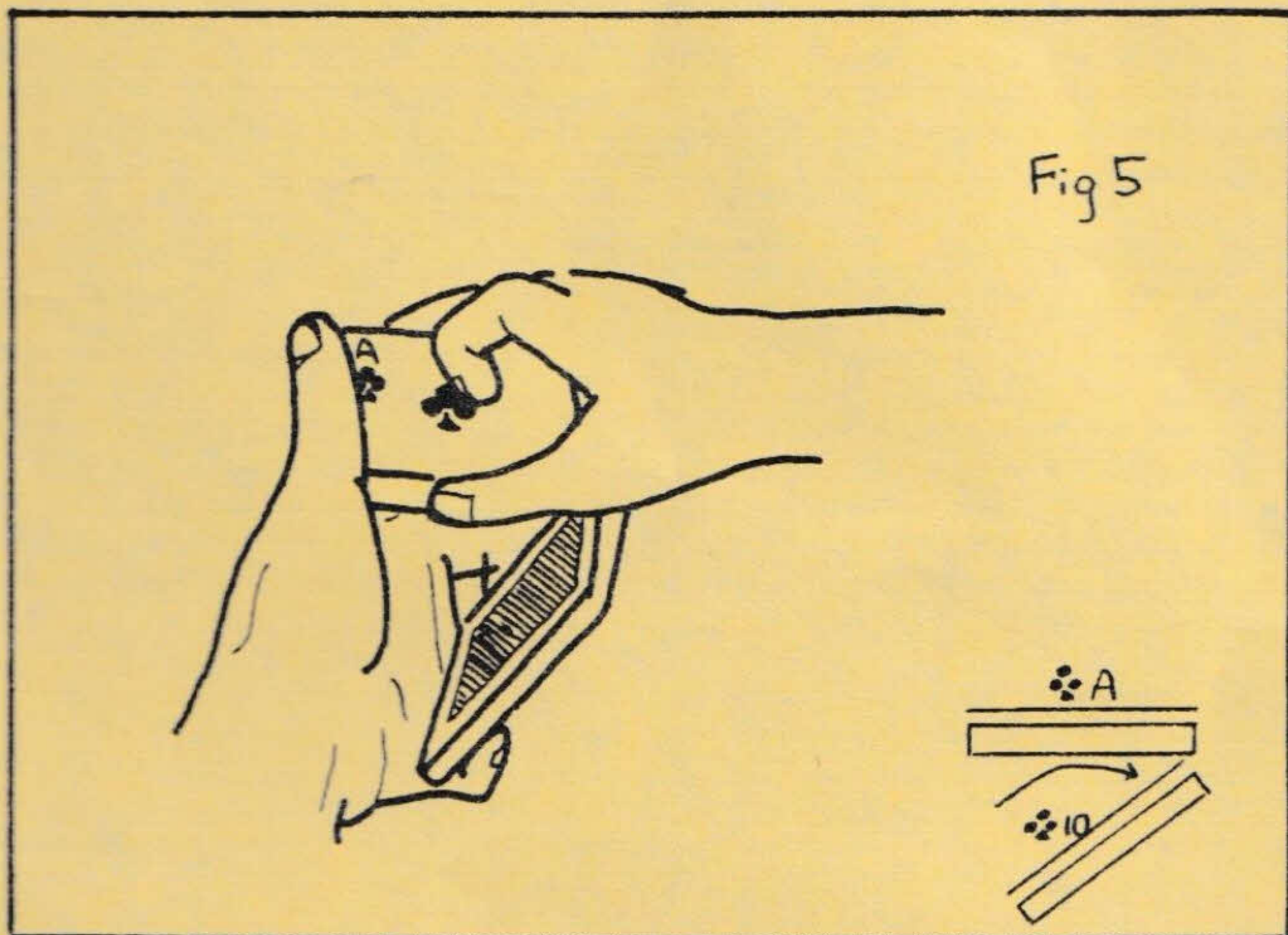


左手でデッキの内端を少し下げ、真ん中あたりに適当にブレイクを作り、右親指、又は、左小指で保持します。

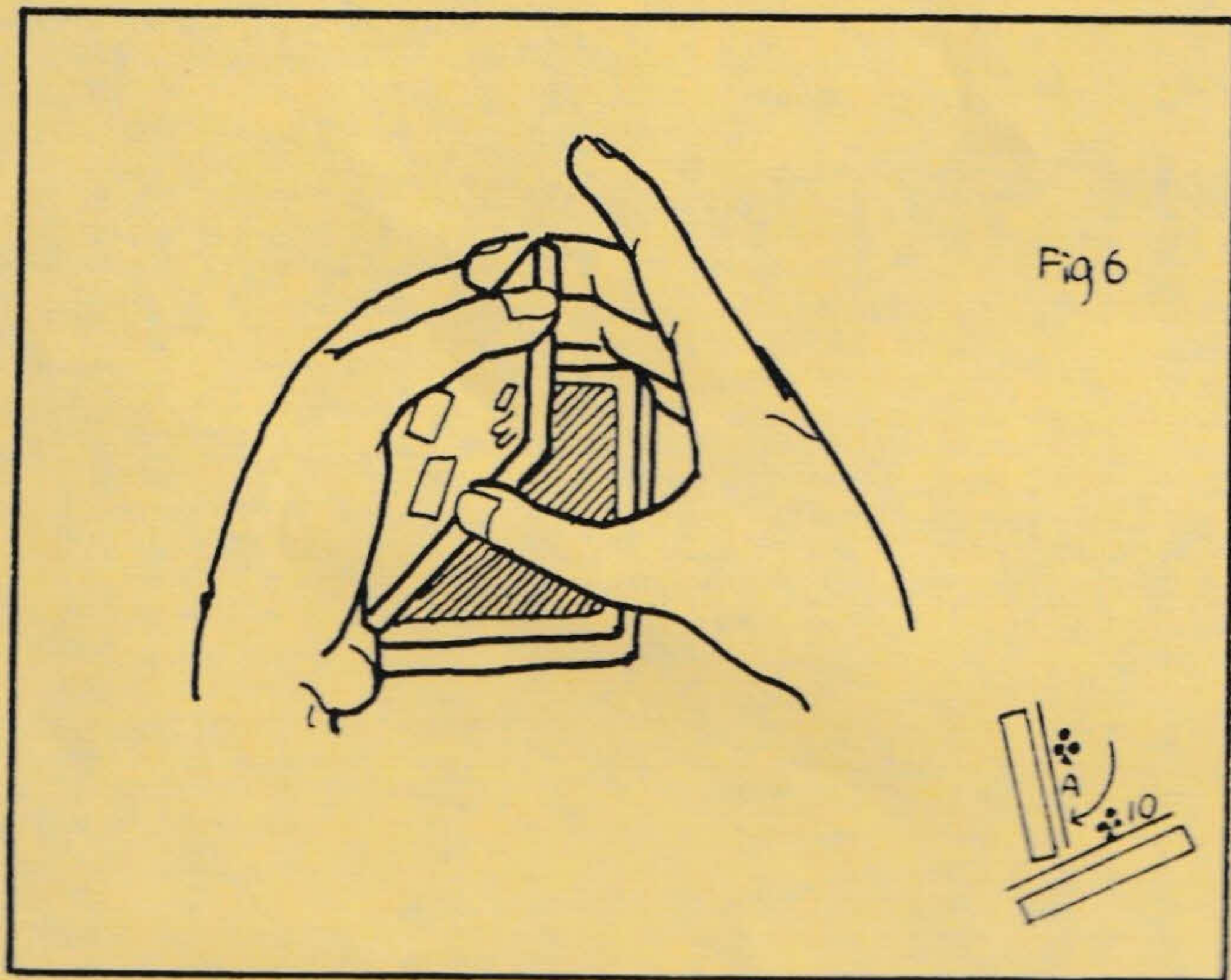
<余談ですが、右手で内端を上げるのではなく、左手で内端を下げる様に注意して下さい。バーンのダブルリフトと同じ意味です。>



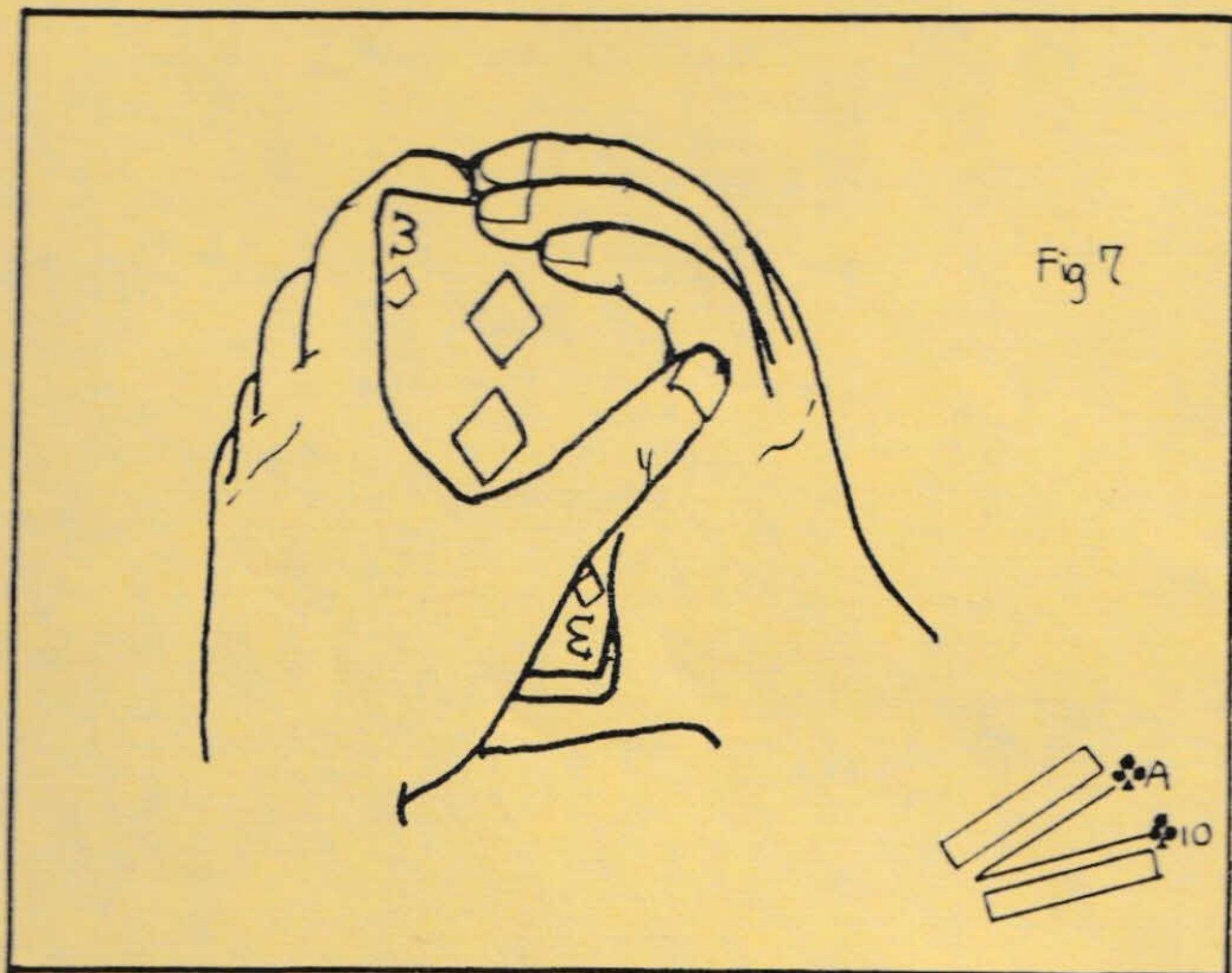
ブレイク以下、下半分を、左手でしっかりと持ち、そのポケットの右側を、左手の指で下げることにより、少し下げます。図は、やや誇張してあります。



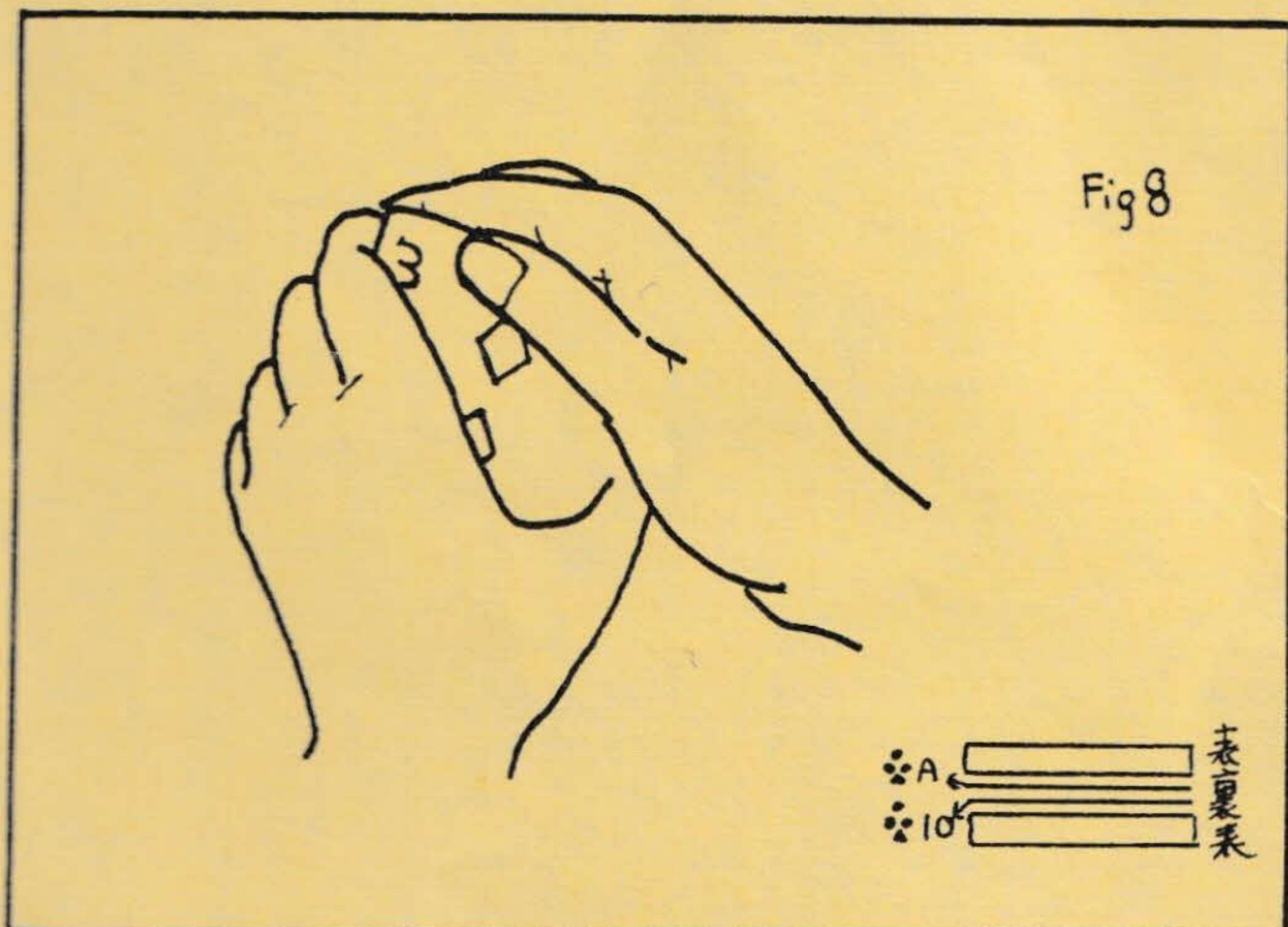
左手の指で、特に、小指と、小指の付け根とでポケットをほんご、下半分の左側、上半分の右側に出る様に、回転し、動かします。右手は、まだ動かしません。上記の動作は Turnover (Lamman) Pass と同じです。



ここで初め、右手を、やや動かします。上半分の1/2を保持している右手の中指と、親指以外の指の力をゆるめ、中指と親指を支点として、上半分の右側を、ちょうどいい様に下に動かします。そして左親指を、上半分の左側の、だいたい中程に移します。ここまでは、Turnover (Ullmann) Passと同じです。



同時に、左手首を、右側に、左の手の甲が左側を向くように、ひねります。右手は、デッキの外端を、しっかりとカバーして下さい。



そして、さらに、続いた動作で、手の甲を上を向くまで、左手首を、ひねります。そして、すかさず、右手をデッキの外端に移動させ、右親指をデッキのフェイスに、他の指を下に、図の様にあてます。手でフェイス・カードが表向きか裏向きか、見えない様に隠して下さい。

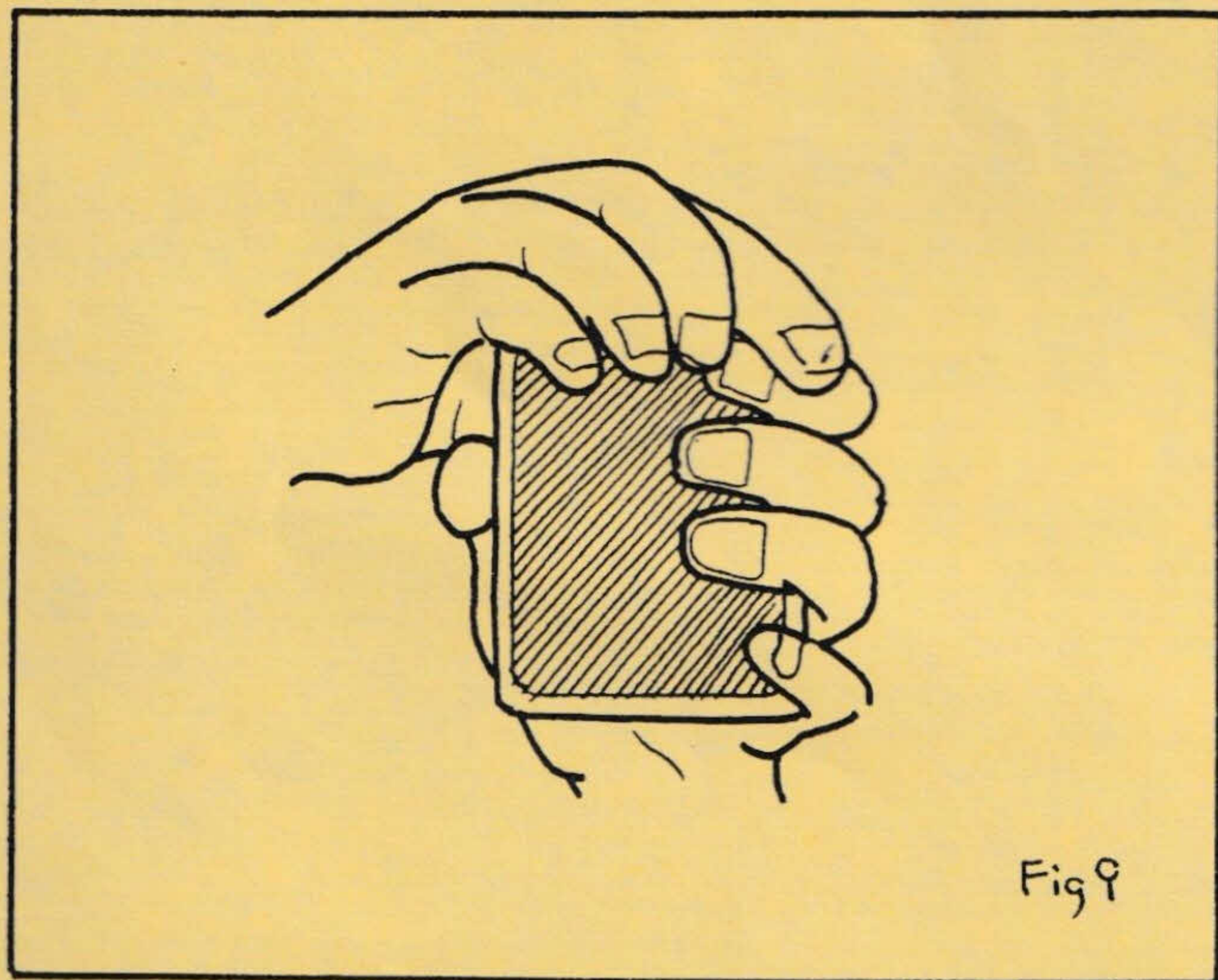
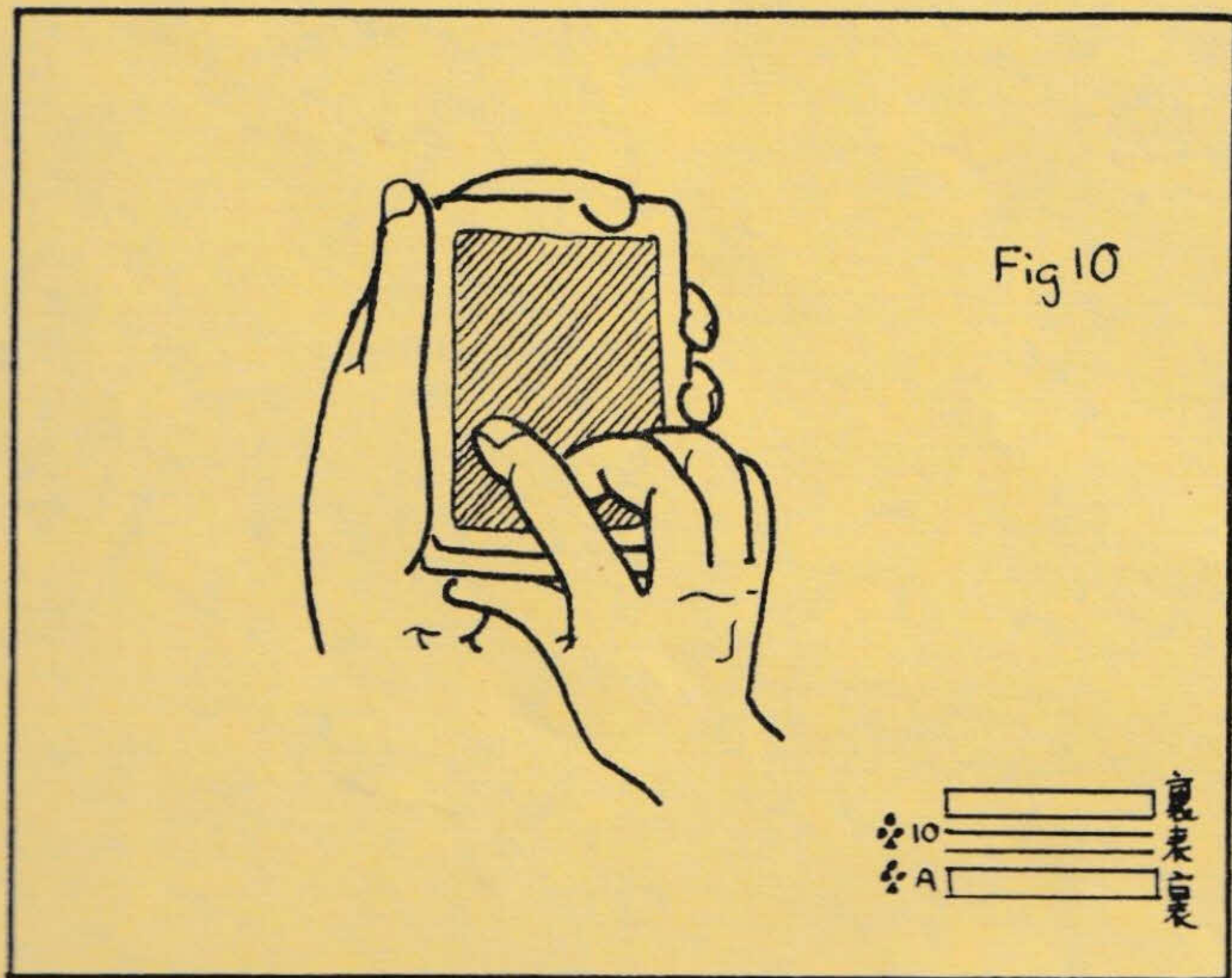
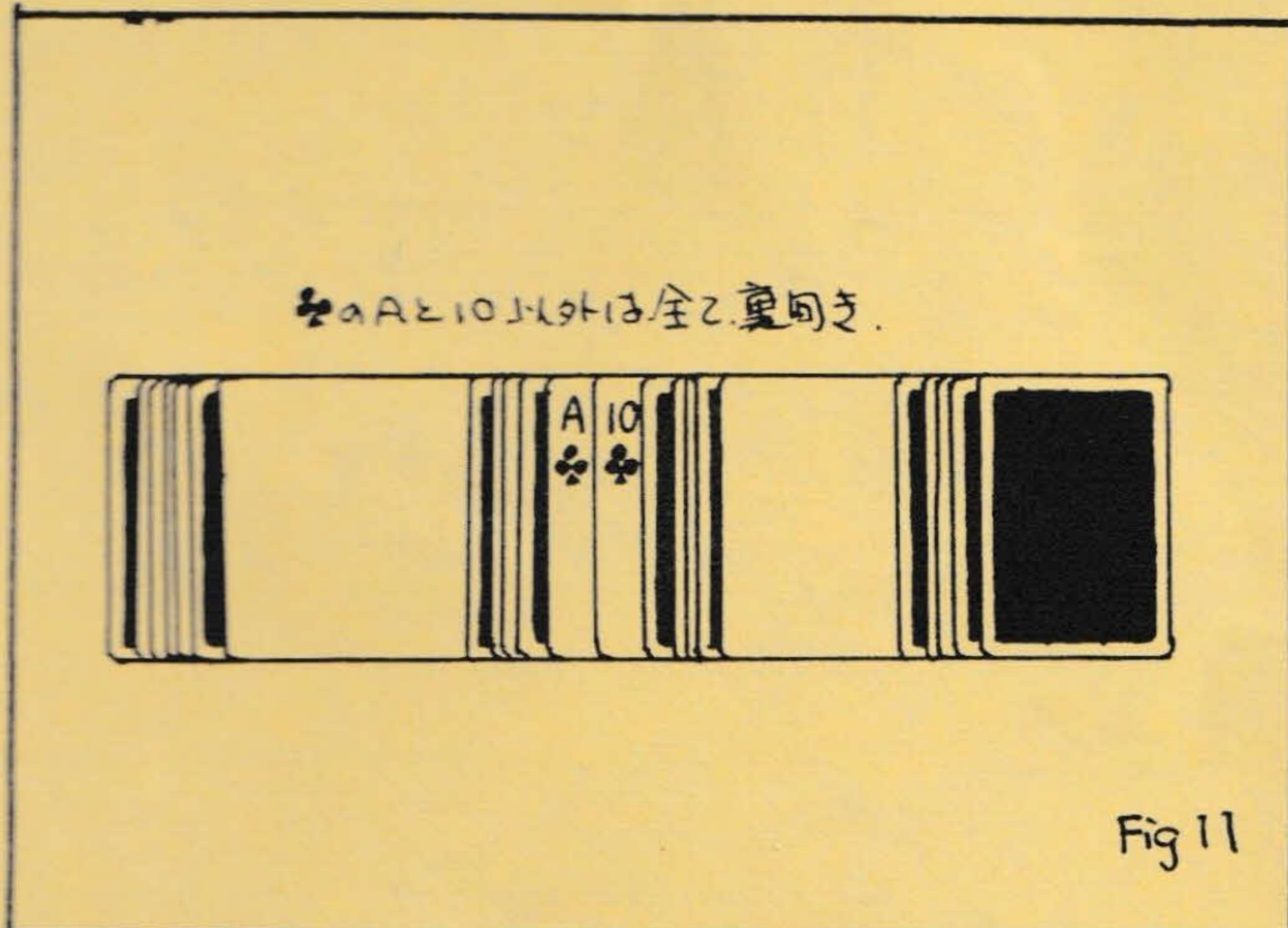


Fig 8の状態を真下から見たところだ。



次の動作は、左右両方の手を同時に動かして行います。右手でデッキを隠しながら、外端を持ち上げ、デッキを前方から手前へ斜めに、ひっくり返します。(End for End) 同時に左手首を手の甲が下を向く様に、ひねり、ひっくり返したデッキを受け取り、く揃えます。



デッキをく揃え、テーブルの上にリボンスアロッドすると、図の様な状態になっているはずだ。これが TRIGGER なる技法だ。

く文章で読むと長く感じますが、実際は、ほんの2、3秒の動作です。だって、ひっくり返すだけだから。よどみなく、スムーズに行えば、ひっくり返しているという、イリュージョンを、与えますので、良く練習して下さい。

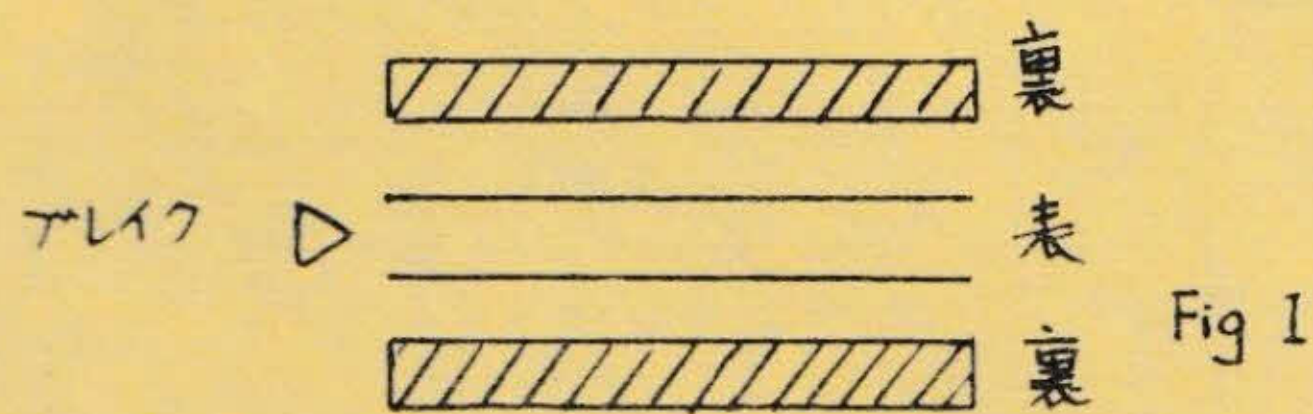
SHOWDOWN

[現象] デックのトップとボトムのカードを客に覚えてもらいます。そして、ただちにデックをスワレードすると真中に覚えてもらった二枚のカードが、ひっくり返っています。

[セット] ボトムの二枚を表向きにしておきます。

[手順] 1. ボトムの表向きのカードが見えない様に、また、セットが崩れない様に、デックを良くシャッフルします。シャッフルし終わったら、デックを揃えて、左手に裏向きに持ち1回カットします。そして、両半分の間で左小指でブレイクを作ります。

2. デックを揃える動作で、ブレイクより上半分の、ボトムカードを、下半分のトップに落とし、この間に、新しく、左小指でブレイクを作ります。(Fig 1)



3. ブレイクの所から、Triggerを使ってデックを裏向きにします。右手の人差し指で表のカードを指しながら、そのカードも覚えてくれる様に言います。右手をデックの上から、親指を内端に、他の指を外端にかけ、デックを持ち変えます。左手でボトムカードを引き出して、そのカードも覚えてくれる様に言います。(Fig 2.A)。そして、カードを元に戻します。この時、デックの状態は Fig 2.B です。

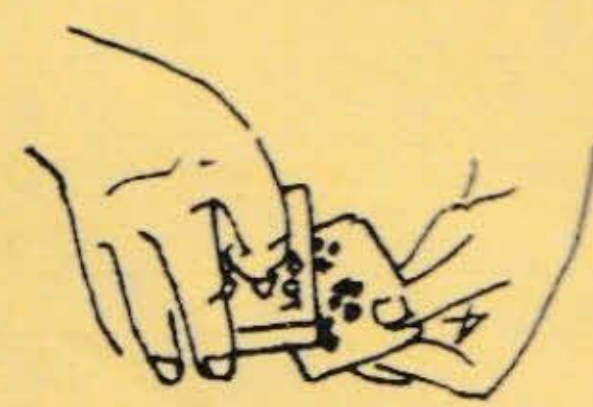


Fig 2.A

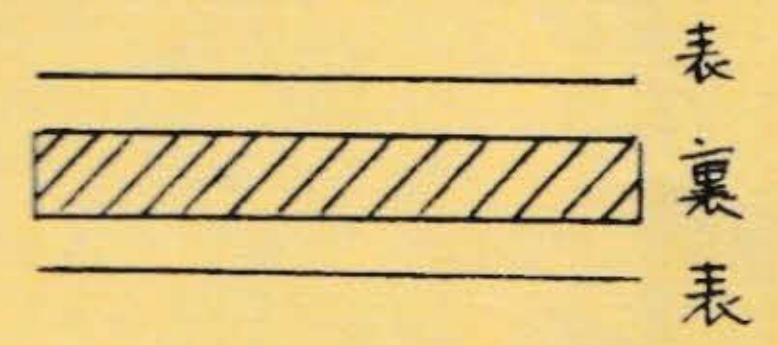


Fig 2.B

4. デックの真中あたりに適当にブレイクを作り、そこから、Triggerを使って、デックを裏向きにします。ただちに、デックを、テーブルの上にスワレードすると覚えてもらった、二枚のカードが、真中で表向きに、ひっくり返っています。

showdown VARIATION

[セット] 上記と同じ。

[手順] 1. 裏向きにデックを、ひっくり返したカードが見えない様に振って、カードを1枚抜いて、覚えてもらいます。この間に、デックを揃えて、1回カットして、前の様に、表向きの二枚のカードの間に、左小指でブレイクを作ります。

2. 客のカードを受け取り、デックの中央に裏向きに入れるふりをして、ブレイクの間に、さし込みます。そして、揃える動作で客のカードの下に、新しく、左小指でブレイクを作ります。(Fig 3.)

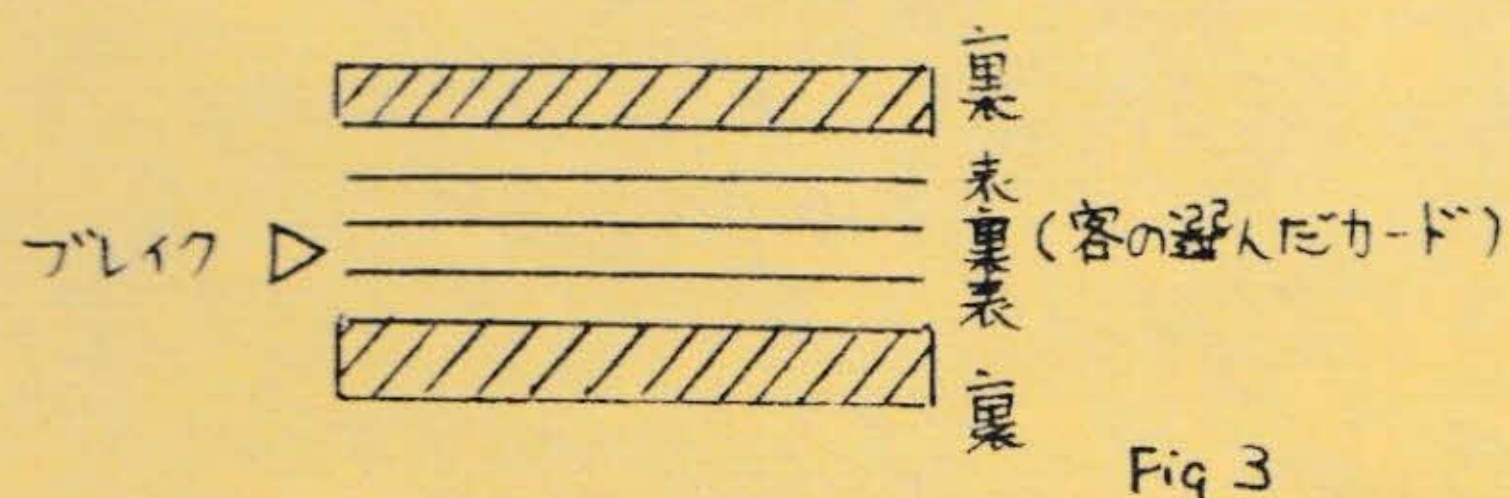


Fig 3

3. ブレイクの所から、Triggerを使って、デックを裏向きにします。表のカードを覚えてくれるように言ってから、右手を上から、

親指を内端に、他の指を外端に、デックにかけ、持ち変えます。そして、左手でボトムカードを引き出すのですが、この時、右手で、サイドガイドを行い、左手でボトムから、二枚目のカードを半分ほど左に引き出します。全部引き出してはいけません。そして、そのカードも覚えてもらう様に言ってから元に戻します。今、デックの状態は、Fig 4 です。

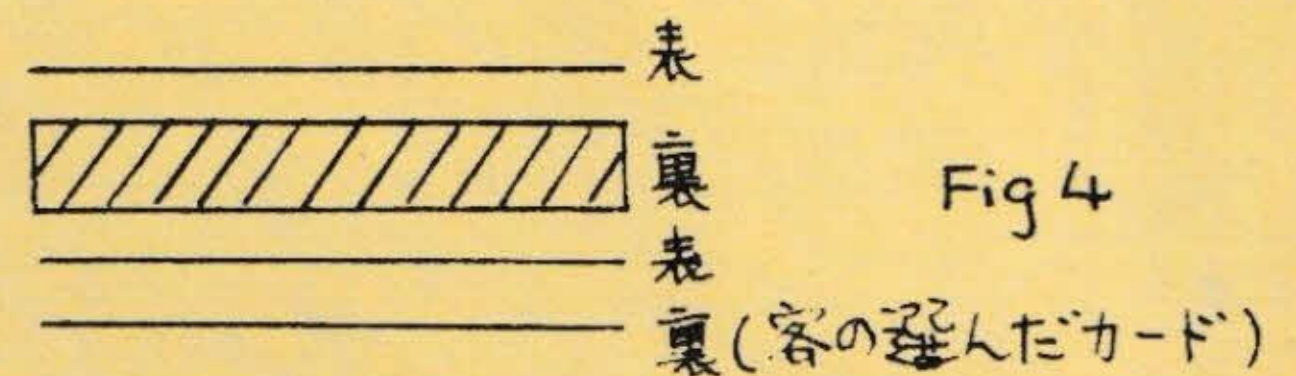


Fig 4

4. 真中あたりに適当にブレイクを作り、そこから、Triggerを使って、デックを裏向きにします。ただちに、テーブルの上にスワレードすると、今覚えてもらった、二枚のカードが真中で表向きになって、裏向きのカードを、1枚、サンドウィッチしてあります。その真中のサンドウィッチされたカードも、ひっくり返すと、客の選んだ、カードなのです。

HOP A LONG HOFZINSER

〔現象〕 客の選んだカードと、テーブルの上においておいた4枚のエースの内選んだカードと同じスーツのエースとが、入れ変わります。

〔手順〕 7. デックから4枚のエースを抜き出して、表向きにして、テーブルの上に置きます。この時、エースのスーツの順序を、トランプから表に向かって、覚えておいて下さい。説明上、トランプから、ハート、スペード、ダイヤ、クラブとします。残りのデックを揃え、表向きに深く、左手に持ちます。左手を、なげなく、やや手前に傾けて、持っているデックが表向きか、裏向きか、相手に見えない様にして下さい。そして、テーブルの上のエースについて、何か話をしながら、右手でエースを取り上げます。親指で裏側を、他の指で表側を押さえて、少し振って、注意を引きながら取り上げます。(Fig 5-A)そして、左手のデックが表向きであるのに気付かれない様に、なげなく、右手のエースを裏向きに、デックのトランプに乗せてしまいます。(Fig 5-B)これは単に裏向きのデックのトランプにエースを乗せた様に見えなければなりません。

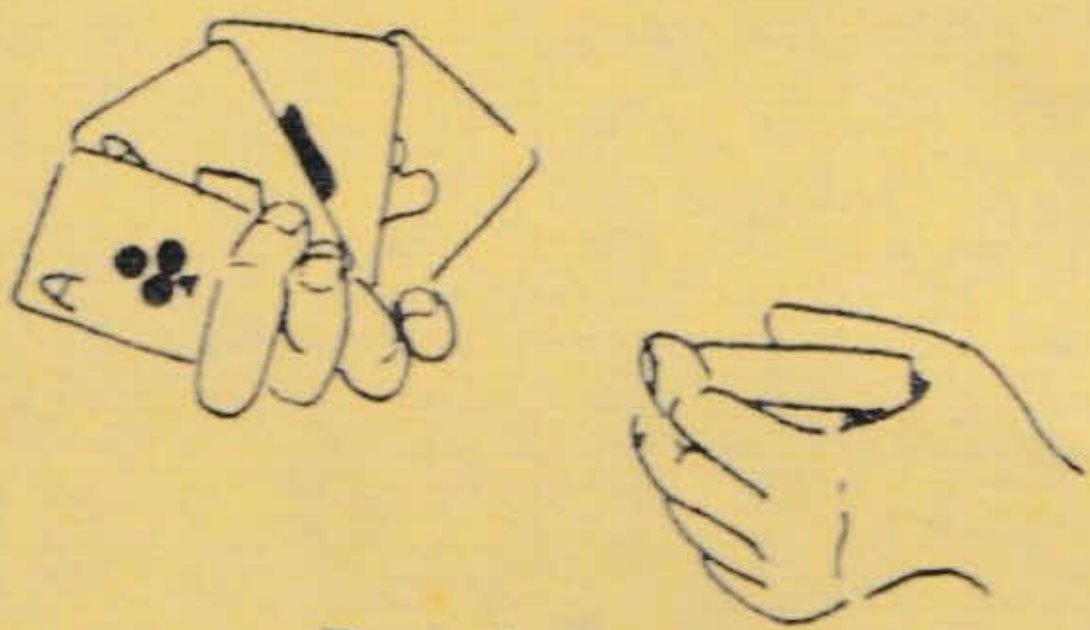


Fig 5A

何気なく話をしながら、示して下さい。この部分が一番むづかしいので、よく練習して下さい。

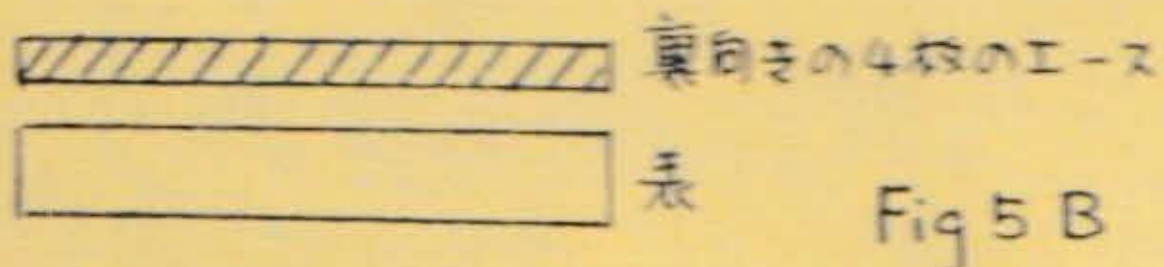


Fig 5B

2. トランプから、約 1/4 の所にブレイクを作り、そこで、Trigger を使って、デックを表向きにします。そして、デックを手の間でゆくり振って行き、客に1枚カードを抜いてもらいます。これは、裏向きのエースが見えない所までの間で、ゆくりと振って下さい。1枚抜いてもらったら、デックを揃えます。この時、相手の抜いたカードのスーツを、しっかりと覚えておいて下さい。

3. ボトムから、約 1/4 の所にある裏向きの4枚のエースの下に左小指でブレイクを作り(Fig 6)それより上のカードを右手で上から持ち上げます。客のカードを、左手に持っている表向きの、11枚の上の裏向きに、置いてもらいます。右手のカードも左手の

カードの上に乗せて、よく揃えます。そして、再び、デックを裏向きのカードが出て来るまでゆくりと、手と手の間で振ります。裏向きのカードが出てきたら、そこで振るのを止めて、その下に続く裏向きの数枚のカードは、見えない様にして下さい。「あなたの選んだカードを表向きのトランプの中で、1枚だけ裏向きにしておきます。」と言いつつ、デックを揃えます。一番上の裏向きのカードの上に左小指でブレイクを作り、

(Fig 7)

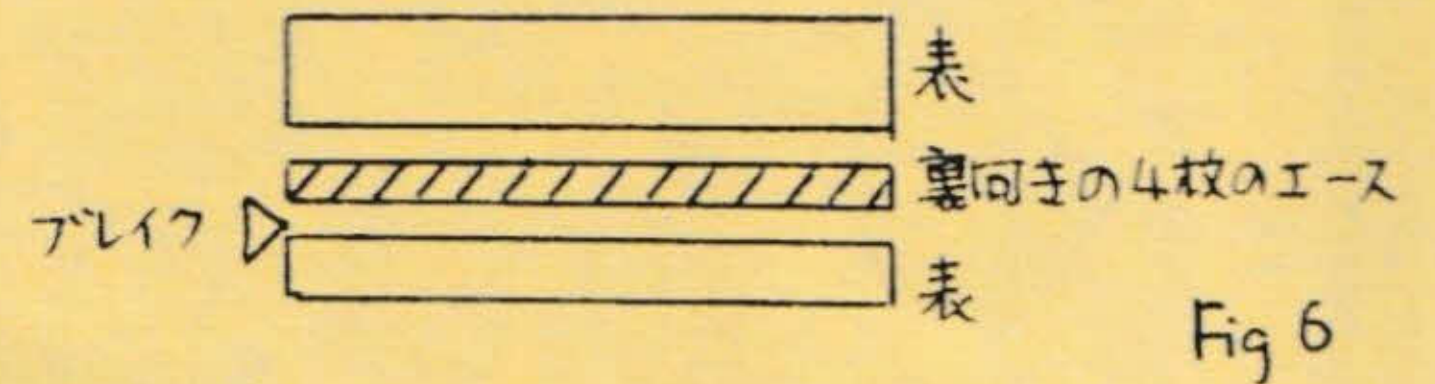


Fig 6

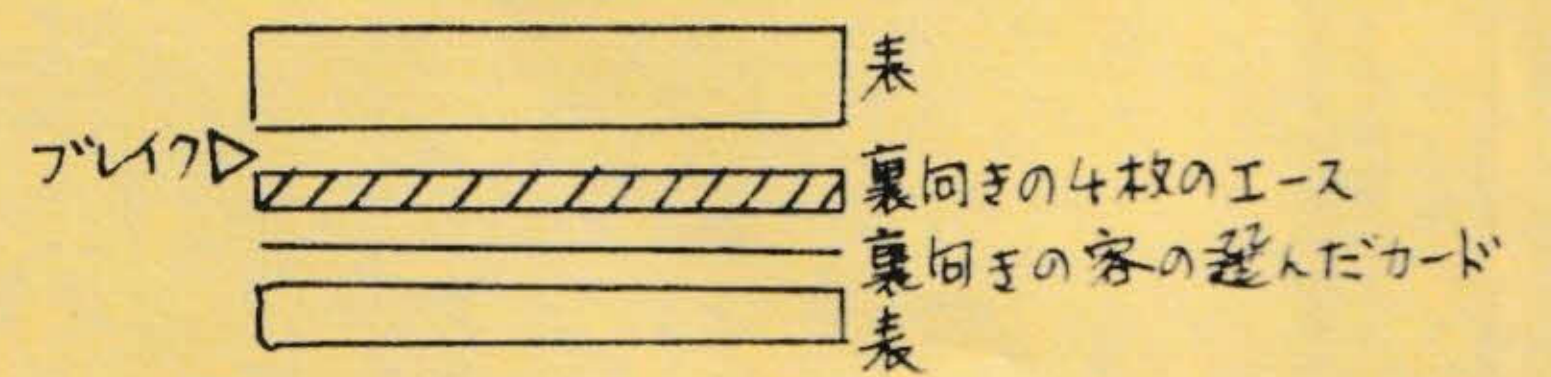


Fig 7

4. ブレイクの所から、Trigger を使って、デックを裏向きにします。「先程、振って揃えておいた4枚のエースをテーブルに出しておきます。」と言いつつ、トランプから、4枚のエースをテーブルの上に置いて、行きます。客の選んだカードのスーツと、同じスーツのエースの所と、それ以下のカードを、セコンド・デールして出して行きます。例之は、客が、ダイヤのカードを抜いたとします。トランプのエースの順序を、ハート、スペード、ダイヤ、クラブとして、かいたから、初めの2枚は、普通に配り、残りの2枚を、両方とも、セコンド・デールするので、配り、終わった時の状態は、Fig 8 の様に成るはずで、

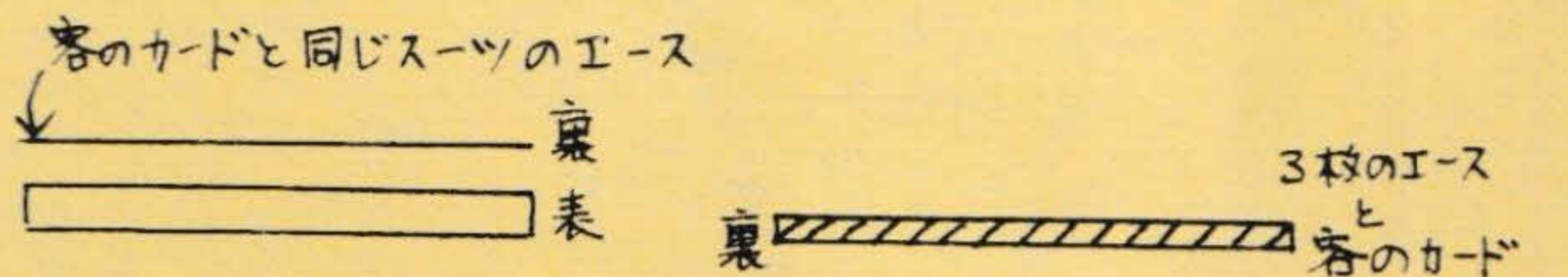


Fig 8

5. 左手のデックの真中あたりに適当に、ブレイクを作り、そこから、Trigger を使って、デックを表向きにして、脇かに、どけて、おきます。テーブルの上のエースを取り上げます。少し振って、なげなく、表を、ケラリと見て、客の選んだカードが、トランプに来るように、カットします。(Fig 9)

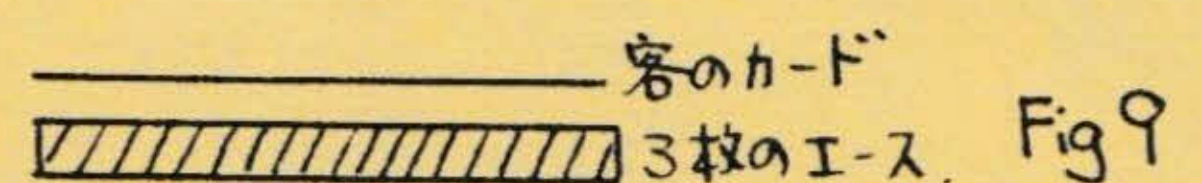


Fig 9

6. その10ペグを揃えて左手に裏向きに持ちます。右手でトップカードをボトムに回し、次のカードを表向きにし、テーブルの上に置きます。つまり、under & down moveをするのです。同じ事を、左手にカードが1枚だけ残るまで行います。最後のカードの表は、まだ見せずに、残ったカードは、客の選んだカードのスーツと同じスーツのエースだと言います。そして、そこから、ゆくりと、そのカードをひっくり返し、エースか客のカードに変わってしまったことを示します。脇にどけておいたデッキを取り上げ、テーブルの上にスワロッドして、選んだカードと同じスーツのエースが真中でひっくり返っていることを見せて終わります。

Masquerade
TECHNIQUE
3
"TILT"

Masquerade Technique #3の御知らせ
次回、No. 3は、Marlon
"TILT"
を特集致します。
A4判、10ページ内外 カバー付き

TRIGGER HAPPY

【現象】4枚のキングをデッキの中央にひっくり返し、入れているスパードのエースとか、アツと言うまに、入れ替わってしまい、残りのデッキの裏の色も変わってしまいます。

【セット】青裏の4枚のキングと、スパードのエースを赤裏のデッキ(ただし、キングとエースは取り除いておく)に、取りはめして、入れています。ただ、トップや表にはなるべくおかないで下さい。

【手順】 7. デッキを表向きに、手と手の間で広げて行き、取りはめして、入れている、4枚のキングと、スパードのエースを、アウトジョグして行きますが、デッキの裏が見えない様に注意して、下さい。カードを、アウトジョグしたまま、デッキを左手に揃えて持ち、右手でまず、4枚のキングを1枚ずつ抜き取ります。この時、最初と最後に抜き、キングのスーツの色も同じにしておいて下さい。そして、4枚のキングを裏向きにして、表向きのデッキの下に入れます。続いて、スパードのエースを抜き、裏向きにして、同じ様に、デッキの下に入れます。(Fig 10)

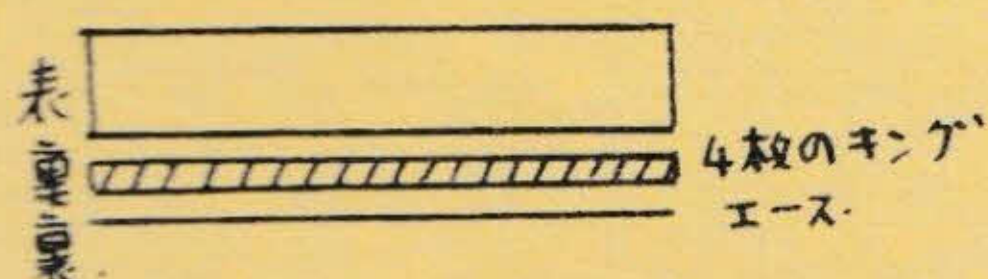


Fig 10

8. 右手でよく揃えながら、デッキをひっくり返します。この時、デッキが赤裏ということを見せられるようによく揃えておいて下さい。右手で、スパードのエースを取り、テーブルの上に表向きにして置きます。左親指で、トップの3枚のキングを押し広げます。4枚目のキングは、デッキに揃えておいて下さい。(Fig 11)

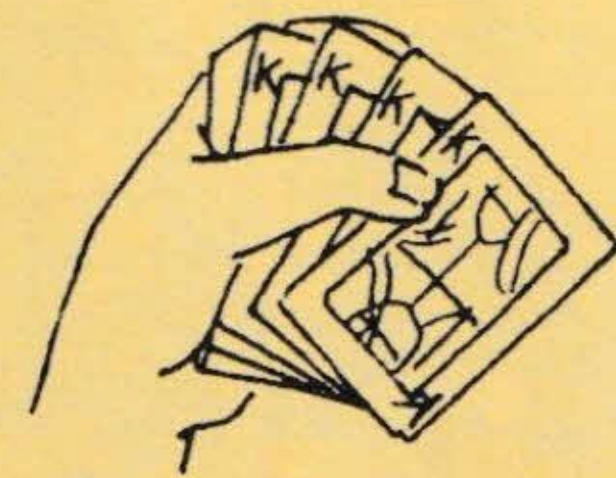
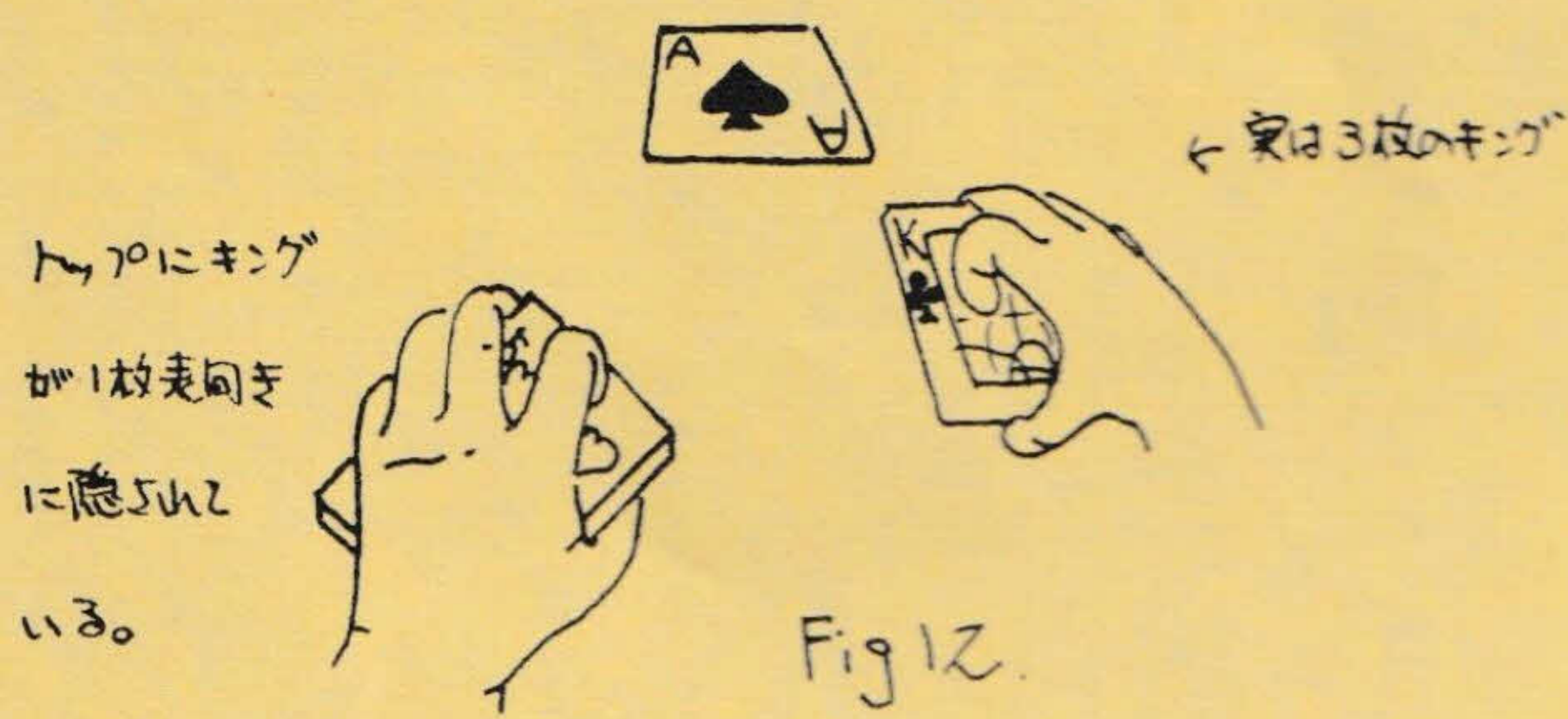


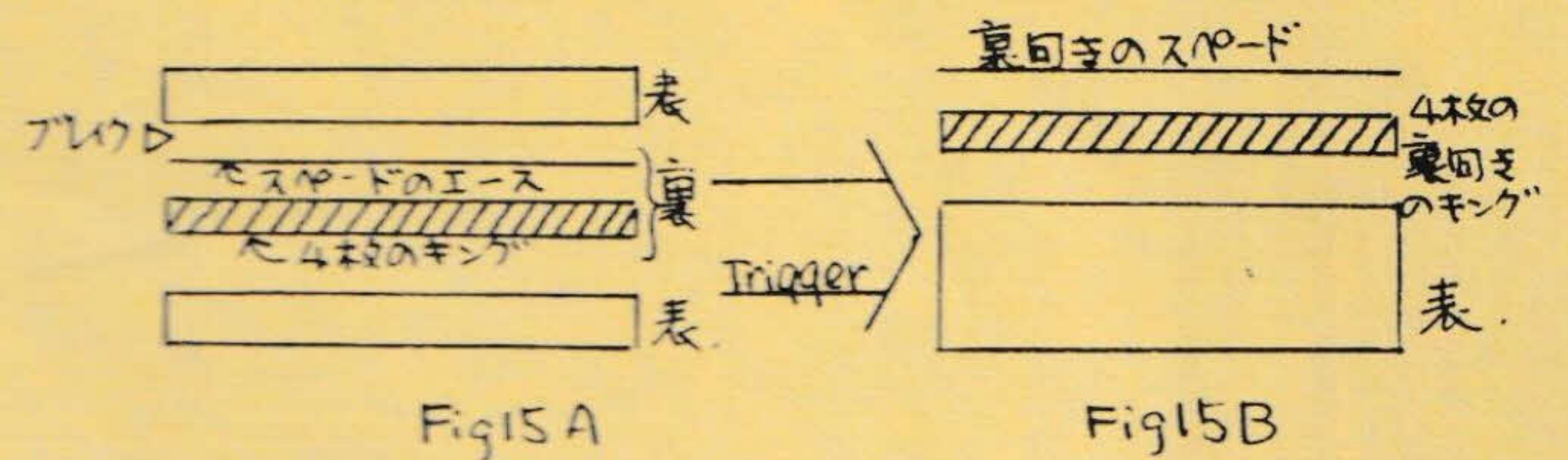
Fig 11.

デッキは裏向き。

4枚のキングを見せた後、右手でキングをデッキに揃えますが、揃える動作で、3枚目のキングの下に左手指で、アレイクを作ります。揃えた4枚のキングを取り上げますが、実は、3枚のキングだけを、あたかも、4枚のキングであるかの様に右手で上から取り上げます。アレイクを作っておいたのが容易に出ると思います。同時に、左手はデッキのトップに残っているキングも見せない様に手首をかえて、デッキを表向きにします。(Fig 12)。右手のキングをテーブルの上においたスパードのエースの少し右に表向きに置きます。【訳注;キングはカードケースの上に乗せて置くことで取り易いと思います。】

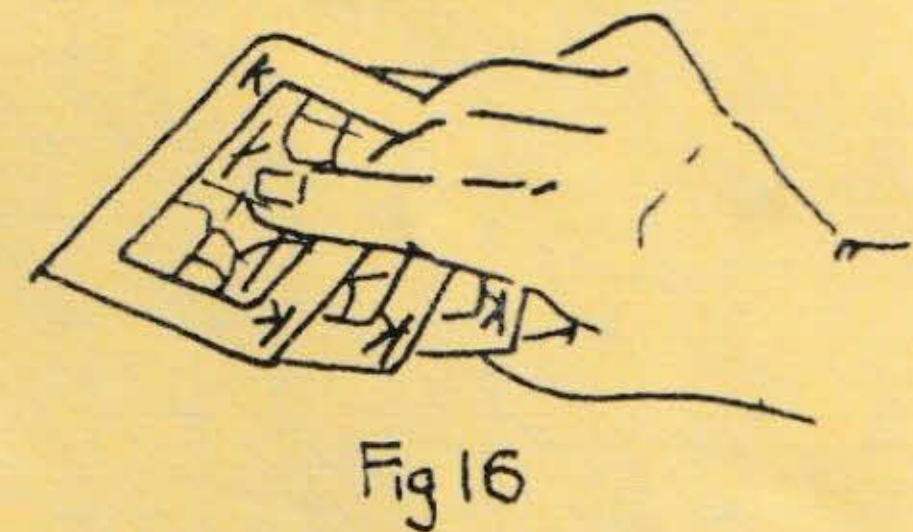
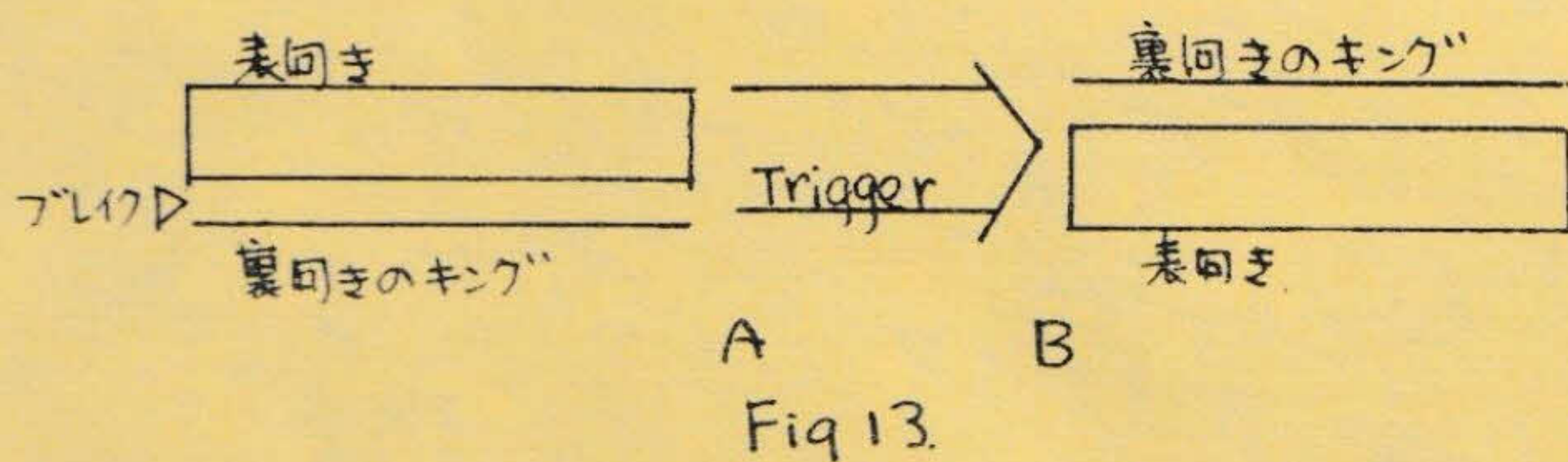


デッキを揃える動作で、スペードのエースの上に左小指でブレイクを作ります。そこから Trigger を使って、デッキを裏向きにします。(Fig 15A-B)



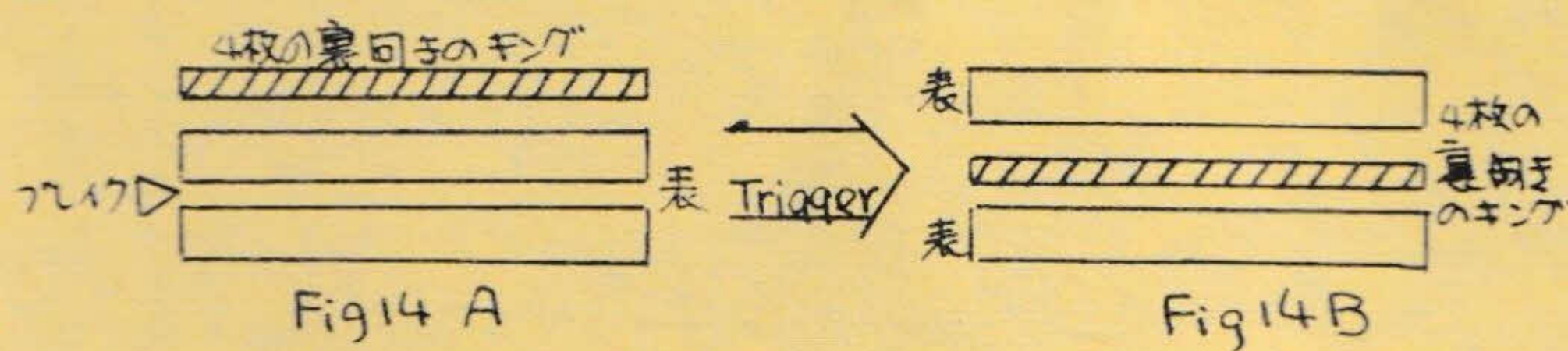
3. 表向きのデッキを右手で揃えながら、左手に表向きのまま、デールリング・ポジションに持ち変えます。左小指でボトムカードの上にブレイクを作ります。これは、ボトムカードを、パワフルすいば、簡単に出来ます。そして、ブレイクの所から、Trigger を使って、デッキを裏向きにします。(Fig 13-A-B) これは、1枚づつ Trigger を行うので、初めは、奇妙に感じますが、慣れれば、そう問題は、有りません。

6. 左親指で、デッキのトッポの4枚を順序が変わらない様に右に押し出します。右手で、そのカードを取、一番上のカードの表を、指でカバーしながら、右手首をかえして、4枚のキング(実は3枚のキングとスペードのエース)に見せます。(Fig 16)。「この4枚のキングは、テーブルにおいておきます」と言って、右手を元に戻し、4枚をデッキのトッポに一度戻します。右手を上からかけて、4枚のキング(!!)とデッキを揃えながら、トッポカードだけを右手で取り上げ、4枚のキングの様に持ちます。右手の指で、外端を隠して、薄さを作るべく、隠して下さい。



4. テーブルの上の4枚(!!)のキングを右手で取り上げます。左手にデッキを持ったまま、表向きのキングのポケットの左側を、左の指先で持ちます。そして、デッキを持ったまま、エイルズレイ・カウントを行い、そのポケットを4枚のキングに見せます。最初と最後のキングの色と同じにしてもらったのは、このためです。右手でキングのポケットを、デッキのトッポに裏向きに乗せます。デッキの真中あたりに、適当にブレイクを作り、そこから、Trigger を使って、デッキを表向きにします。(Fig 14 A-B)

7. 右手で、カードを持ったまま、テーブルの中央に持ってきて、「このキングに、マジタイをかける」と言います。右手のカードを、放して、テーブルの上に落とし、表向きにして、4枚のキングが、スペードのエースに変わってしまったことを示します。デッキの真中あたりに、左小指で適当にブレイクを作り、そこから、Trigger を使って、デッキを表向きにします。デッキを揺らげると、中央に4枚のカードがひっくり返っています。右手で、その4枚のカードを抜き出し、表向きにして、キングであることを見せて、そのキングをテーブルの上に裏向きにおきます。



5. 左親指で裏向きのカードが出て来るまで左外端をリフィルし、裏向きのカードが出て来たら、そこでリフィルを止めます。デッキの中の裏向きのカードが相手に見えないう様にリフィルして下さい。そして、右手でテーブルの上のスペードのエースを取り上げ、裏向きにして、そのリフィルを止めた所にさし込みます。

8. 「この奇術には、難点があるんです。キングとエースがあまりにも早く入れ替わってしまうので、デッキがすごく加熱してしまうんです。」といふながら、デッキを裏向きにして、広げます。赤裏のデッキに変化してしまっています。

JAIL BREAK

【現象】 4枚のエースと2枚の黒いジャックでサンドウッチします。エースは囚人で、ジャックは、それを監視するカードマンです。この10ポケットをデッキの中央に入れおきます。デッキは監獄でおしっかりと警戒しているにもかかわらず、囚人エースは、カードマンを残して、うまいまと、脱獄してしまいます。

【手順】 1. 4枚のエースをテーブルの上に抜き出して、少し広げて表向きにおいておきます。続いて、2枚の黒いジャックを抜き出し、エースの10ポケットの両端に、各々1枚ずつ裏向きに置いて、エースをサンドウッチします。

2. 残りのデッキを表向きにして、半分に分け、各々テーブルの上に置きます。半分ずつのデッキは、監獄の壁だと言います。壁がとて厚いことを強調しながら、エースとジャックの10ポケットも、エースが表向きで、ジャックが裏向きの状態で、1方の表向きの半分のデッキの上に重ねます。残りの半分のデッキを表向きに、更にその上に重ね、デッキをよく揃えます。

3. デッキを表向きに広げて、監獄の囚人の両側に、カードを置いて、その両側は、厚い壁になっていて、囚人が抜け出す

のは、不可能だということも、もう一度強調します。デッキを閉じながら、中央にある裏向きのカードの一番上のカードの上に左小指でブリクを作り、そこから、Triquetrを使って、デッキを裏向きにします。(Fig 17. A - B)

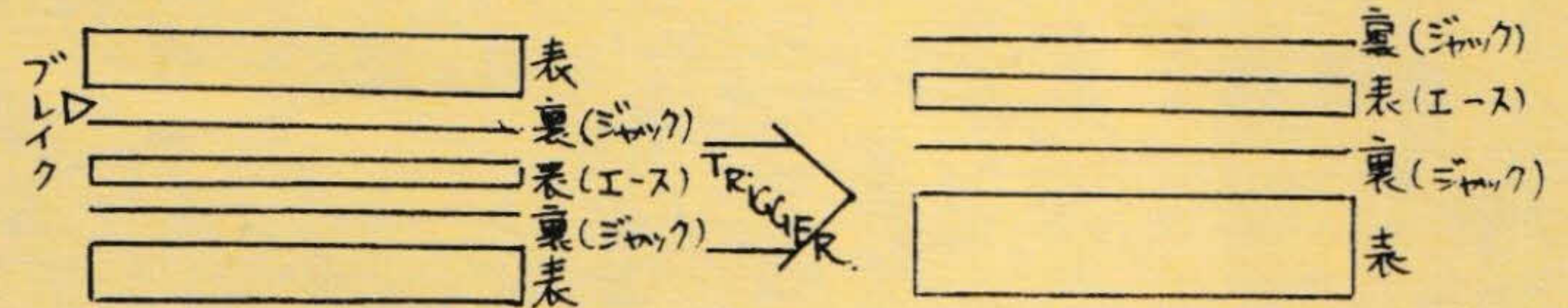


Fig 17A

Fig 17B

4. Endnoseのカラーフェンジを使って、トップと2枚目のカードを入れ変えます。【訳注：表谷皇里さんの訳 The Devil's playthings の P.10. 又は、加藤英夫氏の「カードイリュージョンの石研究」P.16. 英本では Expert at the Table, by Endnose. にも載っています。】このカラーフェンジで1枚目のエースを現れし、そのエースをテーブルの上に置いて、「1人の囚人が脱獄しました」と言います。もう、3回同じカラーフェンジを使い、4枚のエースを全部現れさせます。

5. デッキの中央あたりに適当に左小指でブリクを作り、そこから、Triquetrを使って、デッキを表向きにします。デッキをテーブルの上に広げて、2枚のカードマン、黒いジャックを中央にひっくり返し、残ったまま、囚人が、脱獄してしまったことを示します。

HORSE SENSE

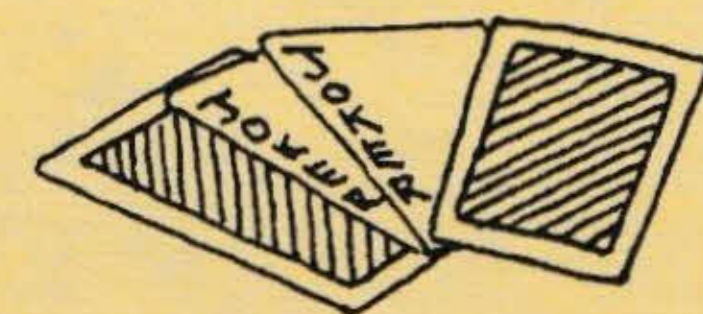
【現象】 4枚の同じカードを見せます。その内、2枚の表が変わり、残り2枚は裏が変わってしまいます。

【セット】 説明上、赤裏のクィーンと青裏のジョーカーが各々2枚ずつ、計4枚のカードが必要で、2枚のジョーカーを2枚の裏向きのクィーンの間を表向きに入れおきます。この10ポケットをトリックカード用のケースにしまし、セットOK!

【手順】 1. ケースから10ポケットを取り出し、左手にトップカードが裏向きの方を上にして、持ちまわし、もう一方の面は見せない様に注意して下側の10ポケットを広げると、2枚のジョーカーが裏向きのカードの間で表向きになっているのが見えます。「4枚のジョーカーを使ったトリックです。2枚は表向きで、2枚は裏向きです。」と言い、10ポケットを閉じる時に、表向きの2枚のジョーカーの間に、左小指でブリクを作ります。そこから、Triquetrを使って10ポケットを表向きにします。

2. 10ポケットを広げて、今度は表向きの2枚のジョーカーの間はカードが2枚裏向きになっているのを見せます。以上の動作で、カードは全て赤裏のジョーカーに見えます。

3. 客に、真ん中か、両端か、どちらかのジョーカーを選んでもらい、選ばれた方を2枚とも右手に少し広げて取り戻します。端のジョーカーが選ばれたとします。それら、ジョーカーの裏を、マジカルジスター風にくるって、ひっくり返し、青裏に変化したことを示します。「もし、自分が、真ん中のジョーカーを選んだら、どうするんだろうと思うでしょ!? そんな時は、こうしてあげようぞ。」と言って、左手に残っているカードを、ひっくり返し、クィーンに変化したことを見せ終ります。もちろん、もし真ん中のジョーカーが選ばれたら、セリフは適当に変えて下さい。



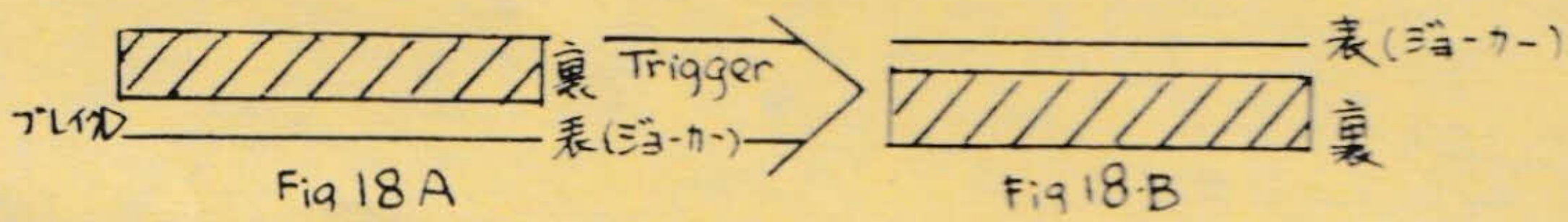
GREENHORN

〔現象〕 デックの表・ボトムカードと、中央に裏向きに入れたカード
 が入り変わり、変換してしまいます。

〔セット〕 ボトムカードを1枚、ひっくり返しておきます。これは、なるべく
 覚え易いカードにして下さい。説明上、ジョーカーとします。

〔手順〕 1. デックを、ボトムの表向きのカードを見せない様に、
 又、位置を変えない様にシャッフルします。デックを拵げ、客に
 1枚、抜いて、覚えさせます。相手がカードを抜いたら、すぐ
 に、デックを拵え、ボトムカードの上に左手指でブレイクを作ります。
 そして、そこから、Triggerを使って、デックを裏向きにします。

(Fig 18 A-B)



2. デックの表のカードも相手に覚えさせます。
 この場合は、ジョーカーがよい。デックを裏向きにしたまま、(実は、トップだけ
 表向き)。右手で、客のカードを取り、裏向きにして、デックの真ん中に、
 手前からさし込みます。デックを拵える動作で客のカードの下に、
 左手指でブレイクを作ります。(Fig 19)

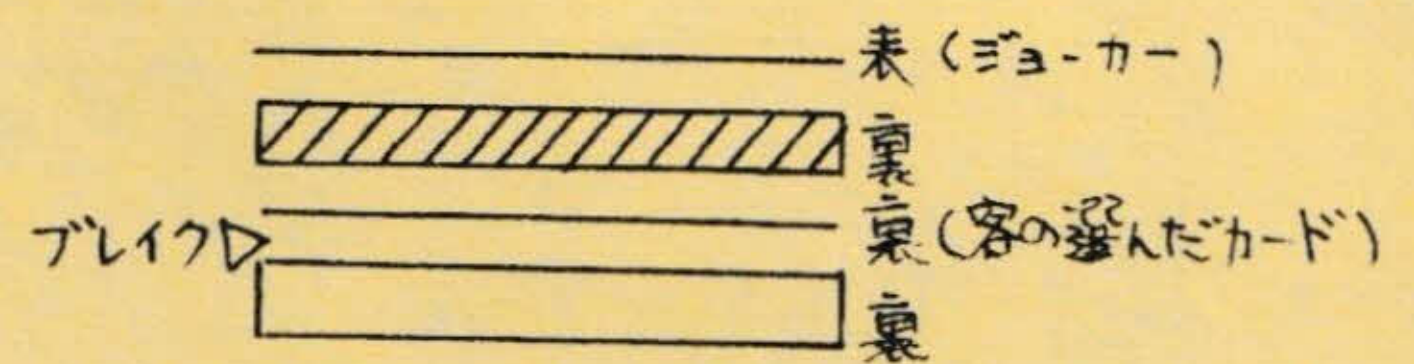
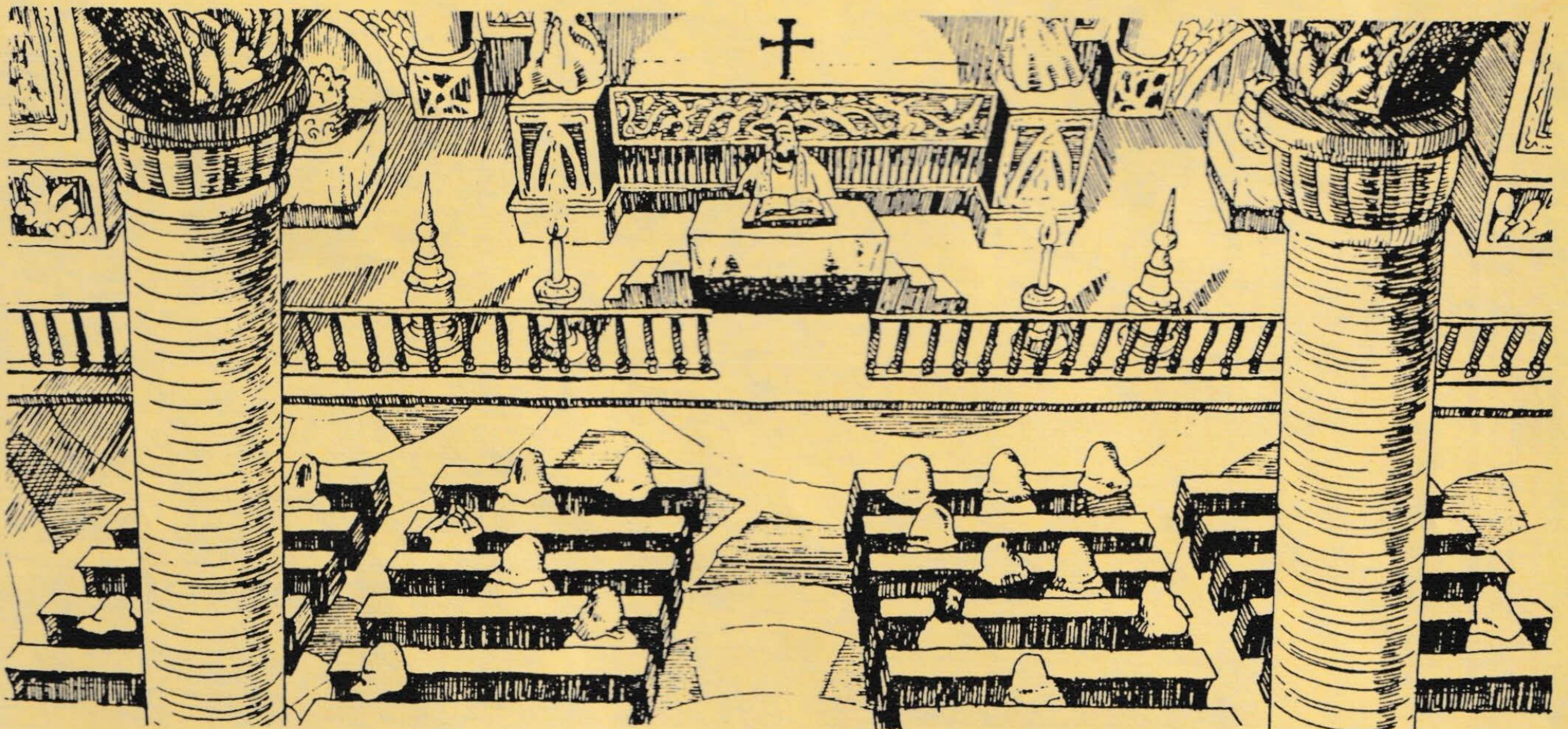


Fig 19

3. ブレイクの所から、Triggerを使って、デックを裏向きに
 します。客に抜いたカードの名前を言わせ、覚えさせます。そして、マジックをかけて、
 ゆっくりと、デックを裏向きにして、ジョーカーが客のカードに変わり、この
 ことを示します。続いて、デックを、テーブルの上にリボンスアヘッド
 すると、ジョーカーが中央に、ひっくり返ってこきます。



記者 **Yoshiteru Sagiya** (鷲谷好輝)

編集 麦谷真里

MASQUERADE Tech. #2